



ほけんだより



暦の上ではもうすぐ春を迎えますが、まだまだ寒さの厳しい日が続きます。つい寒さに身体を縮めて、下を向いて歩いてしまいがちですが、『冬来たりなば春遠からじ』と言われるように、少し上を向いて歩いてみると椿(つばき)や山茶花(ざんか)が見事な花を咲かせていたり、蝶梅(ろうばい)の黄色く透き通った花が見られたり、とすぐそこまで来ている春の足音を感じる事が出来ます。たまには顔を上げて、春の気配を探してみて下さい。

今年は、4年に一度の『うるう年』にあたります。暦と実際の太陽の動きの差を調整する為に、2月29日が追加される特別な年です。因みに、2月29日生まれの場合、運転免許証等の行政手続きは、2月28日生まれとして取り扱うと定められているそうです。英語では、うるう年を「Leap Year」、2月29日の事を「Leap Day」と言います。平年はその前年の同じ日より1曜日ずれるけれど、うるう年の翌年は2曜日ずれて平年より1つ飛び越える(lap)事からそう呼ばれるそうです。今月はいつもより1日多いのか…とついマイナスに考えてしまいがちですが、4年に一度のおまけの一日を飛躍(lap)の為の大切な日にしたいですね。

感染症情報



インフルエンザ(A型) 5名

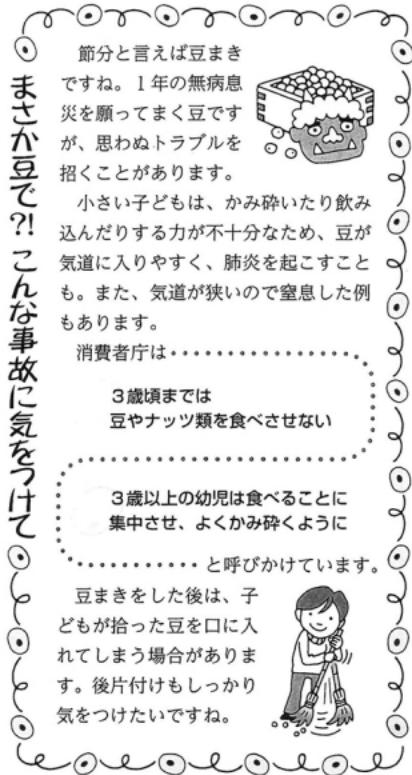
新型コロナウイルス感染症 1名

感染性胃腸炎 8名

※だらだらと様々な感染症の発生が続いています。都内でも、インフルエンザ・アデノウイルス感染症・溶連菌感染症・新型コロナウイルス感染症等が多発的に流行しており引き続き注意が必要です。

※インフルエンザ等の流行に伴い、学校の学級・学年閉鎖も増えています。感染拡大予防の観点から学級閉鎖になったクラスや学年閉鎖になった学年にな在籍している児童を連れての送迎はお控え下さい。ご理解・ご協力、よろしくお願ひ致します。

※インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症罹患中は、感染拡大予防の為、登園停止期間中の外出は控え、自宅での安静をお願いします。



なぜ
カゼ
は

病気になることを「病気にかかる」と言いますが、カゼの時だけ「ひく」と言うのはなぜでしょう？

大昔の中国ではカゼをひいたとき、「悪い空気（風）」が体に入った状態だと考えられていたそうです。この悪い空気のことを「邪氣」と言い、体の中に邪氣を引き込む、という表現か



子どもの嘔吐 こんな時どうする？

感 染性胃腸炎など、冬に気をつけたい病気の流行が予想されています。もし子さんが吐いてしまったら…こんなところを見てあげてください。

① 確認するべきポイント

- 熱があるか
- 便の状態、おしっこの回数
- 頭やおなかを痛がっているか
- 周囲に似た症状の人がいるか

② 注意してほしいこと

- 吐いた直後は水分を与える、少し落ち着いてから白湯やお茶などをひと口ずつとらせる
- ぐったりしている、顔色がおかしい、何度も吐く場合は、すぐに受診を

吐いたことに驚いて怖がったり泣いてしまうこと。 「大丈夫だよ」と安心させてあける声かけも忘れずに。

ら、他の病気のように「かかる」ではなく「引く（ひく）」といわれるようになつたとか。ちなみにカゼのことを漢字で「風邪」と書くのは、この話がもとになっているのだそうです。

まだまだ寒い冬。悪いものを引き込まないよう、うがい・手洗いでブロックを！

